

# シアトル別院時報

31巻3月号

2012 年度教化標語  
世の中安穩なれ



## “Missing Piece” で考えたこと

新井俊一師

けさNHKの「課外授業」という番組を見ました。毎週様々な分野で活躍している人を招いて、その人の卒業した小学校で授業をやってもらうという番組です。今回のゲストは翻訳家の鴻巣友季子（こうのすゆきこ）さんでした。鴻巣さんはクラスの子供達にシェル・シルバースタインの童話 Missing Piece と辞書を渡し、グループに分かれてそれを翻訳するように、と指示しました。番組の様子では、子供達はまだ正式の英語の授業は受けたことがないようでした。しかし子供達は辞書を使ったり、仲間と話し合ったりして、悪戦苦闘しながら、とても独創的な翻訳を生み出していました。



Missing Piece の話を簡単に言うと、一部が欠けている「○」がその欠けた部分にぴったりはまるもの missing piece を探しに旅に出ます。その欠けている部分は一切れのリンゴのような形で、ちょうど「○」の口のように見えます。話しの中ではその「○」は it（それ）と呼ばれています。それは旅の途中、野原や山や谷を転がり、木や花や虫や鳥など、様々なものに出会い、話しをしたり、それぞれの思いを聞いたり、一緒に歌ったりします。

しかしなかなか自分の欠けた部分を埋めるような missing piece を見つけれません。やっと見つけて、自分の欠けた部分と合体して完全な丸になりました。しかしその後、前のように自由にものが言えないし、歌えないし、何かつまった感じで以前のように転がることもできません。とうとうその missing piece と別れることにしました。そしてその不完全な「○」は転がり続けました。以前よりも自由で楽しく。

鴻巣さんにこの話の意味を聞かれ、子供達はそれぞれまた非常に興味深い解釈を発表しました。全体として生徒達の感じたことをまとめると、ここに出てくる「○」は私たち人間一人一人であって、完全ではないが常に欠けた部分を埋めようと人生の旅をしている。しかしこの不完全な存在が完全を求める過程こそが私たちの人生なのだ、ということでした。鴻巣さんばか

### 3月の予定

- |     |        |                              |
|-----|--------|------------------------------|
| 4日  | 10時    | 家族法要                         |
|     | 10時45分 | 日本語プログラム                     |
| 11日 | 10時    | 東日本大震災被災者<br>一周年追悼法要         |
|     | 10時45分 | 日本語プログラム                     |
| 18日 | 10時    | 春のお彼岸法要                      |
|     | 10時45分 | 日本語法要<br>田井悠蓮師<br>シアトル高野山仏教会 |
| 25日 | 10時    | 家族法要                         |
|     |        | DXなし、DSなし                    |
|     | 11時—3時 | 別院バザー                        |

りでなく、番組のスタッフも私も、生徒達の感受性の豊かさに感動しました。小学生であっても、大人に負けないくらい深く考えることができるのだな、と思いました。また生徒達の隠れた能力を引き出した鴻巣さんの授業の運びに、感心しました。

この番組を見ていると、釈尊の事を考えました。前のエッセイに書きましたが、釈尊は成道後も最小限の煩惱を持ち続けて、人々を迷妄から救うためにこの世に生き続けようと決心されました。と言うことは、釈尊は完全な智慧を獲得しながらも、仏としては不完全さを保たれたのです。この最小限の煩惱が上の話の欠けたところを持った「丸」に当たります。釈尊はそのわざと残した不完全さによって、完全な仏であることができたのです。この世を去られた時、釈尊は完全な仏、完全な「〇」になりました。だから、釈尊の死は「大般涅槃」（偉大で完全な仏果）と呼ばれています。

私たちの信心も、生きている限り完全なものになりません。親鸞聖人も「浄土真宗に帰すれども、まことの心はありがたし」とおっしゃっています。私たちは煩惱の働きで、いつ過ちをしでかすか分からない命を生きています。しかしこの不完全な信心が信心の本質なのです。私たちは生きている限り、仏の教えを聞きながら missing piece を求めて生きていくのではないのでしょうか。

新井先生に許可を頂き転載させて頂きました。

先生の略歴：相愛大学名誉教授、文学博士（ハワイ大学）、浄土真宗本願寺派教師。



### 会長の挨拶

森久保ゆきお

2月に第65回西北部仏教徒大会がスポークーンで催され、素晴らしい大会でした。レジストレーションでスケジュールを見ますと、この大きな催しにスポークーンの計画機能と勇気を感じました。すべてがとてもよく出来ていました。成功おめでとう、そしてありがとう。

大会中、個人の歴史に重きをおかれました。原田マービン師がスピーカーで、自身のおかしい話を紹介され、赤星カーレン、赤星先生の夫人、は大

会でスピーチされ40年代に彼女の父寺尾えいゆう師とその兄弟がスポークーン寺を創立され、その家族の思い出を暖かく語られました。私は全部のウォークショップ、桑原清信師（BCA）、バンテ・シーラウィマラ（IBS）、グレゴリー・ギブス師（ポートランド）、藤森デニス師（アイダホ・オレゴン）、に出席できませんでしたが、参加した分では自分の人生を理解するに役立つ経験でした。この大会はまた三月で任期を完了する小杭総長に対する記念ともなりました。先生は挨拶で北米のお寺の支援に感謝されました。彼の功績を過小評価するのは簡単ですが先生のお陰で私たちはその益を得ています。先生が力を入られた米国での仏教養成・教育、青年への注目。両方が重要で大胆です、この大会がその結果を見るよい機会でした。

大会は確信する場でした。私達の開教使とミニスター・アシスタント達（MA）は北西部に浄土真宗を伝えるに重要な役割を果たしております。カスタロ輪番はMAを監督し、MAはスポークーンに務めます。この任務を先生はとても真剣に取り組まれています、そしてスポークーン寺はそれにより続いて発展しています。カスタロ輪番、ワーリック先生、MA ジョー・シュワブ、後藤アイリーンはワ州のお寺で法要を務めます。簡単な事ではないと思います、でもそのお勤めは心からの行いです。皆さんに感謝します。

この度の大会に出席出来なかった方たち、来年のカレンダーにマークして下さい。来年は白河寺主催で2月15-17日でタクイラのダブル・ツリーであります。白河寺は今年のスポークーンと同じハイ・スタンダードのレベルであるでしょう。 合掌

### もち

年末のおもちがまだあります。半額の2ドルで日曜日か週日は事務所で販売されます。青少年のグループの援助になります。

## バザー

3月25日は春のバザーです。これは別院の2回の重大なファンドレイズの一つです。でもこれはまたお寺の門徒の方々が一同に集まる機会でもあります。基金を集めるとかフードのよい評価だけではなくいかに多くの方たちが何時間もの時間を奉仕されるかでいかに成功だったかわかります。

準備について各団体の代表から連絡が行きます。また地下の廊下にサイン・アップが張られます。皆様のご奉仕おねがいします。

バザーのチケットは2月末に発送されました。同封の手紙にバザー前にチケット代をお支払い出来るお知らせがあります。チケットが必要でない方はお寺に戻るか友人に分けられます。チケットには番号がありますので戻された分はわかります。バルク・メールでチケットを郵送すると全部の内容が同じでないといけないので個人の希望はかなえられません。

例年のようにベーク・セールへの寄付もおねがいします。当日の朝に届けて下さい。アレルギーのかたがおられるのでナッツの入ったものはご指定ください。



## 職業案内- プロジェクト・ダイレクター

ウィステリア・ビュー・ハウジングでは経験あるプロジェクト・ダイレクターを探しています。シニア・ハウスのウィステリア・マナーの運営・管理など。

詳細は英語面にて。

## 会員部より

今月も英語部に会費お支払いの方のお名前があります。この方々は2012年の維持会費をお支払いになった方々です。70才以上は\$250 (\$500 ご夫妻)、70才以下は\$300 (\$600 ご夫妻)です。これは別院の維持に対しての最低額になります。ありがとうございます。

# 婦人会便り

## 会長のメッセージ

## 馬場ジャネット



この冬は私達婦人会にとってとても多忙な時でした。今年の初雪の日に川原律子並びに沢山の会員が煮込めとおぜんざいのお齋の準備をし、報恩講の後に別院会員に接待され、寒い日の為皆様にとっても歓迎されました。

活動部は日系マナー（心会）、ユースケアー オライオンセンターとユニオン ゴスペル ミッションに手編みの帽子を寄附されました。頂いた毛糸を利用して出口メイ、藤野スー、磯村敏子、小財よし子、久保田千恵子の有能な方々が沢山の帽子を編まれました。

西北部教区大会に於けるサイレント オークションの為に別院婦人会が準備された2個のギフト バスケットに婦人会理事の方々が溢れる程の沢山の品々を寄附して下さいました。清水春子が水引細工で大きな芸術作品、”蝶々”を作製され額に入れて、寛大なる寄付をして下さいました。収益は全部別院利益となります。

来る3月16日、婦人会会員がオライオン センターにてホームレスの青少年達に夕食を調製し、接待します。私達の会員方は別院、サンガ、そして社会に寛大に奉仕する事を続けておられます。

私達の団体に加入して下さい新しい会員を求めております。どうぞ別院事務室の方へお電話下さい。

お電話番号：(206)329-0800

## 活動部

和紙で鉛筆箱を作成するクラスが、3月7日11時半より正午まで、階下のダイニングルームの向い側の高校生のクラスルームで持たれます。ハサミ、鉛筆、そして和紙をご持参ください。事務室の向

いの掲示板に署名する用紙があります。

### 婦人会寄附

英語欄をご参照ください。

### 3月行事予定

- 4日(日) 午前11時45分 婦人会理事会議
- 7日(水) 午前10時00分 新入会員入会式・昼食会の準備の会合
- 7日(水) 午前11時30分 クラフトクラスー和紙鉛筆箱
- 16日(金) SBBWA のオライオン センターの為の夕食調製・接待
- 18日(日) 午前11時45分 婦人会キャビネット会議
- 30日(金) 午前 9時30分 台所清掃

通信書記(日) 新保エツ提出

### 日本語法要・プログラム予定

- 3月4日(日) 日本語プログラム ビデオ法話  
桑原浄信師「浄土真宗の救いとは」
- 3月11日(日) 日本語プログラム ビデオ法話  
桑原浄信師「朝には紅顔ありて夕べには白骨となれる身」
- 3月18日(日) 日本語法要 シアトル高野山仏教会 田井悠蓮師
- 3月25日(日) 日本語プログラム ビデオ法話  
桑原浄信師「必ず渡してくださる本願の船」



第65回西北部仏教徒大会にて桑原先生と会場風景

